

- 家庭ごみ処理手数料収入(歳入) 4億6,990万6千円
↓特定財源として直接充当
- 家庭ごみの処理に必要な経費(歳出) 4億6,990万6千円
(ごみ収集運営費)
↓相当額の一般財源を環境施策などに活用
- 手数料相当額を活用する事業など(歳出) 4億6,990万6千円
(下表の①+②+③の合計)



■歳出の内訳

①一般廃棄物処理施設整備基金積立	2億3,495万3千円
②家庭ごみ減量などの対策事業	1億2,879万9千円
ごみ集積所の設置・修繕、被せネットの購入に対する町内会などへの補助	810万6千円
生ごみ堆肥化容器購入費補助などや食品ロス削減の対策	796万7千円
資源化物の回収を行う町内会などへ奨励金を交付	1,432万7千円
資源化物の祝日収集	1,561万2千円
古紙回収の促進・支援	4,381万2千円
ごみ減量説明会・キャンペーン、ごみ減量イベントなどの開催	1,008万9千円
ごみ集積所のパトロールや不適正排出の現場調査	248万7千円
不法投棄防止のパトロールなどの対策	972万5千円
家庭ごみ処理手数料収納管理、 小売登録事業者への手数料の徴収事務委託やシステムなどに係る経費	1,667万4千円
③その他の環境対策事業	1億615万4千円
地球温暖化対策	
住宅用太陽光発電システムや木質ペレットストーブなどの導入費補助	2,175万1千円
再生可能エネルギー(太陽光・風力・地熱・バイオマス)施設のPRと情報発信	283万2千円
電気・ガスなどのエネルギー使用状況の把握と分析による市有施設の効率的な運用	1,564万2千円
市有4施設での省エネルギー設備の導入による省エネ化と効率的な光熱費削減	831万6千円
スマートフォンアプリを活用した環境配慮行動に取り組むシステムの運用	651万円
将来の環境制約下でも持続可能な社会の実現を図るため、 低炭素で温暖化防止に役立つ暮らし方を考える取り組みを推進	24万円
地球温暖化対策実行計画の策定など	177万4千円
緑のカーテンの普及啓発や講演会などによる地球温暖化対策の推進	158万1千円
環境負荷の少ない次世代低公害車を公用車として購入(経費の一部を充当)	45万5千円
照明灯のLED化を実施(公共施設照明など)	1,303万1千円
生活環境の保全に寄与する事業	
微小粒子状物質(PM2.5)の成分分析業務委託	879万1千円
水銀含有ごみの収集運搬・処分に必要な経費	2,523万1千円
地域振興基金を充当する事業 (歳入と歳出の差額を後年度の事業に活用するために積み立てていたもの)	
中小企業などの省エネを促進する設備投資を支援	5,022万2千円
照明灯のLED化を実施(防犯灯、道路照明灯、公共施設照明灯など)	3,410万2千円
間伐や森林施業への支援、公園の緑地整備による二酸化炭素吸収効果の向上	1,003万4千円
一般廃棄物処理施設整備基金を取り崩して実施する事業 溶融施設や第2リサイクルプラザの大規模改修、修繕などの実施(事業費の一部に充当)	7,250万円